

# 持続可能で生産性が高い農業の推進

～ 良い土・良い豆・良い飼料 若手と築く、未来の仙美里 ～

十勝農業改良普及センター十勝東北部支所 地域第一係

## 1 活動対象及び概要

本別町仙美里東地域11戸（畑作専業6戸、畑作園芸1戸、畑作畜産4戸）

## 2 背景・ねらい

背景	ねらい
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 戸当たり経営面積増加</li> <li>○ 労働軽減・コスト低減</li> <li>○ 後継者の営農参画</li> <li>○ 農地・施設・機械投資</li> <li>○ 主要畑作物の生産低迷</li> <li>◎ <b>小豆の生産低迷</b></li> <li>◎ <b>草地生産性の低下</b></li> <li>◎ <b>連作・過作傾向</b></li> </ul>	<p>現状把握、調査・試験の実施</p> <p>↓</p> <p>小豆の低収要因解明(R3～R5)</p> <p>輪作体系の把握(R5～R6)</p> <p>草地の植生維持・改善(R4完結)</p> <p>↓</p> <p>小豆収量と品質の向上</p> <p>飼料品質・収量の向上(R57期～)</p>

**本別町 仙美里東地域**

経営者平均年齢  
2005年:53.5歳  
2020年:44.3歳

## 3 活動の経過

◆◆◆ 小豆の高収量栽培技術の実践 ～活動経過～ ◆◆◆

### 小豆の低収要因

項目	考えられる原因	対策
生物性	ダイズシストセンチュウ	緑肥(クレムゾン)・コキアミR
	キタアカリセンチュウ	緑肥(えん麦野生種)
	根粒菌着生不良	粗大有機物・根粒菌接種 窒素(尿素)葉面散布
物理性	気相率が低い	
	土壌が硬い	心土破砕・粗大有機物
	加けによる硬さ	加けセッティングの見直し
化学性	基肥N過剰	
	根粒菌着生不良	基肥量の見直し
	高pH	石灰資材の削減
	リン酸過剰	リン酸減肥

試験圃の継続設置  
(R3～R5)

定点調査

要因解析調査

次年度は実規模で  
地域へ普及!

- 小豆の低収要因と対策をまとめた **技術連関図**を基に各調査を実施。
- R3～R5年で調査した結果をまとめ、**小豆の低収要因を解析**。
- 高収量栽培に向けた**技術提案**をまとめて、**実規模で実証ほ場**を設置。

## 4 活動の成果

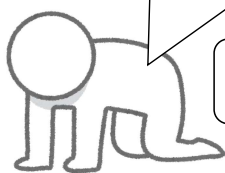
### ◆◆◆◆ 小豆の高収量栽培技術の実践 ～成果～ ◆◆◆◆

R5年度は、これまでの試験・調査結果を基に適正施肥を推進した結果、4戸が施肥内容と作土層の改善に至りました。

## BEFORE (令和3年度管理状況)

	豆類の土壌診断に基づく施肥量				作土層の改良	子実重 (kg/10a)
	窒素	リン酸	加里	苦土		
A	○	○	×	×	○	371
B	×	×	×	×	×	169
C	○	×	×	○	○	318
D	○	×	×	×	○	264
E	○	×	×	×	×	144
F	○	○	×	○	○	224
G	○	×	×	×	○	279
H	○	×	×	×	○	272

令和3年度に作土層を改良した人は6名。  
これは、土壌断面調査等を行った成果。  
でも、土壌診断に基づく施肥をした人は「0人」・・・



もっと必要性を伝えねば・・・

## AFTER (令和5年度管理状況)

作土層の改良かつ土壌分析に基づく施肥を行った人は「0人」から「4人」に！  
これまでの活動が、農業者に作土層の改良と土壌分析を基にした施肥設計の大切さが伝わった結果と考えられる。



しかも、収量平均は令和3年より60%Up!

	豆類の土壌診断に基づく施肥量				作土層の改良	子実重 (kg/10a)
	窒素	リン酸	加里	苦土		
A	○	○	○	○	○	423
B	○	○	○	○	○	306
C	○	○	○	○	×	436
D	○	○	○	○	○	320
E	○	○	○	○	×	385
F	○	○	○	○	×	276
G	○	○	○	○	○	481
H	○	×	×	○	○	439

## 5 今後の対応

### ◆◆◆◆ 小豆の高収量栽培技術の普及 ◆◆◆◆

- 3カ年の試験結果を基に、実規模の施肥実証ほ場を設置。
- 研修会や試験結果報告会を通して、地域全体への普及に努める。

